

STOP! 滞納

町税の滞納処分を強化しています

町の公共サービスは、皆さんが納めている町税などの貴重な財源によって提供されています。

町税を滞納することは、住民サービスの低下を招くだけでなく、納期限を守る多くの皆さんとの公平性が保てないこととなります。

納税は国民の義務です。納期限までに納付するようお願いいたします。

納期限に納めないとなどうなる？

納期限までに納付がない場合、法定の延滞金が課せられます。

納税相談をせずに滞納している方には、職場や金融機関への財産調査や財産の差し押さえなどの滞納処分を強化して対応しています。この差し押さえは裁判所の許可を経ることなく、町（徴税職員）が執行することを認められています。また、事前の差押予告通知も必要とされていません。

滞納処分とは…

滞納がある方から、給与や預金、生命保険、不動産などの財産を強制的に差し押さえることをいいます。

地方税法では、督促状が送られてから10日以上経っても納付されない場合、滞納者の財産を差し押さえる必要があると定められています。

差し押さえられた財産は、勝手に処分することができなくなります。例えば、銀行預金が差し押さえられた場合、その預金は自由に引き出せなくなります。

差し押さえた財産は、取り立てや売却を行い、未納の町税を支払うために使われます。

期限内の納付が困難な時は……

病気や失業などのやむを得ない事情や生活の困窮などにより納期限内に町税を納めることができなくなった時は、すぐに相談をしてください。特別な事情があると認められる場合は、分割納付など状況に合わせた対応をします。

ただし、分納約束を交わした場合でも、並行して財産調査を行います。

また、分納計画を守らない場合は、差し押さえることもあります。

【納税相談窓口】住民税務課 税務グループ（上湧別庁舎）TEL2-5863



口座振替(自動引落)・コンビニ納付・キャッシュレス納付が便利です

忙しい方には、指定口座から自動引き落としされる「口座振替」のほか、「コンビニ納付」や、クレジットカード、スマホ決済アプリによる「キャッシュレス納付」が便利ですので、ぜひご利用ください。



※対応可能な金融機関やコンビニの名称は、納付書に記載されています。

※口座振替の手続きは、口座のある金融機関で行ってください。

※「30万円を超えた額の納付書」や「バーコードの印字がない納付書」はコンビニ納付ができませんのでご注意ください。

※キャッシュレス納付の詳細は「地方税お支払いサイト」にてご確認ください。

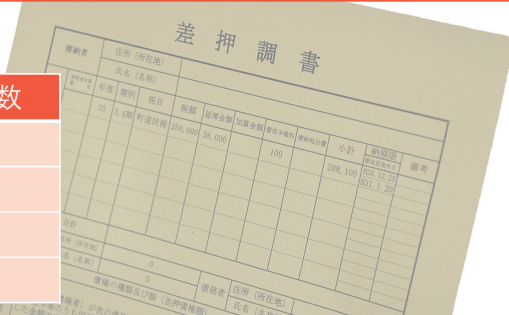


地方税お支払いサイト

令和6年度収納率

税目	町税の収納率	年度	差押件数
町道民税	99.73%	令和3	18件
固定資産税	99.66%	令和4	33件
軽自動車税	99.53%	令和5	21件
国民健康保険税	98.92%	令和6	13件

差し押さえ状況



マイナンバーカードを利用した 救急業務の実証事業を実施します



遠軽地区広域組合消防本部 TEL 0158-42-7600

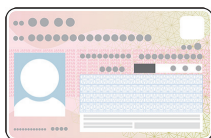
遠軽地区広域組合消防本部では、マイナンバーカードを健康保険証として使う「マイナ保険証」を活用して、病院の選択などに役立つ情報を得るための、「マイナ救急」という取り組みを、令和7年秋頃より実施する予定です。

「マイナ救急」では、救急搬送時にご本人の同意を得たうえで、専用の端末を使ってマイナ保険証を読み取り、医療機関の受診歴など必要な情報を確認します。その情報をもとに、スムーズな救急対応ができるかどうかを検証します。

現在、全国の消防本部で同様の実証事業が進められており、本格的な導入に向けた検証が行われています。



①119番通報



②救急隊到着



③搬送先で事前準備

マイナ救急の流れ

司令員が通報者に対して、マイナ保険証の準備を依頼します

マイナ保険証をカードリーダーで読み取り、情報を確認します

【閲覧する情報】

- ・氏名、生年月日、住所
- ・受診した医療機関名
- ・既往歴 ・薬剤情報
- ・特定健診の情報 など

マイナ救急でできること

病歴や飲んでいる薬を、救急隊が正確に把握できます

円滑な搬送先病院の選定や適切な応急処置が実施できます

搬送先病院で治療の事前準備ができます

マイナ救急紹介動画
YouTube





サマージャンボ7億円

(1等5億円・前後賞各1億円合わせて)

サマージャンボミニ5,000万円

(1等3千万円・前後賞各1千万円合わせて)

この宝くじの収益金は市町村の明るく住みよいまちづくりに使われます。

7月11日(金) 2種類同時発売!

発売期間 7/11(金)~8/11(日)
抽せん日 8/21(土)

公益財団法人北海道市町村振興協会 各1枚 300円

5/
23

町をきれいに

湧別建設業協会・管工事組合が地域貢献活動

湧別建設業協会(森谷和洋会長)と湧別管工事組合(長谷川晴夫組合長)が五鹿山公園周辺で清掃活動を行いました。

この活動は地域貢献の一環として毎年実施されています。沿道に散乱したごみを中心に清掃が行われ、すぐに袋いっぱいにごみが集められました。

今年も不法投棄されたごみが目立ちましたが、清掃活動を通じて道路の適切な維持管理に大きく貢献いただきました。参加された皆さま、誠にありがとうございました。

五鹿山公園周辺



今年は17社から50人以上が参加しました

5/
30

ゆるキャラでアップサイクルをPR

マルナカ相互商事がこども園にホタテのわりばしを贈呈

自社制作のホタテのキャラクター「のあちゃん」が主役の紙芝居で、捨てられるはずのホタテの貝がらを再利用し、わりばしへとアップサイクルする過程をわかりやすく説明し、児童たちに、ホタテの貝がらを原材料とした「ホタテで作ったわりばし」とキャラクターが印刷されたトートバックが贈呈されました。

担当者は「今後もアップサイクルの取り組みを進め、SDGsおよび町のゼロカーボンの取組みに貢献していきたい」と話しました。

認定こども園のみり



児童たちは元気よくお礼を言っていました

5/
31

心躍る演奏を披露

湧別高校スプリングコンサート

毎年恒例となっているこのイベントには、保護者や地域の方々など多くの方が来場。軽快なマーチで幕を開けた演奏は、ソロパートを含むさまざまなプログラムで展開され、最近の人気曲も多彩な演出とともに披露しました。

局長の小島果子さんは、「いつも応援ありがとうございます。」と、保護者や地域の方々、先生方に感謝の気持ちを伝えました。

アンコールを含め全7曲が披露されると、客席からは拍手が響き渡り、会場は大いに盛り上がりました。

文化センターさざ波



多彩な演出で会場を盛り上げました

6/
1

ママがときめく1にちを

子育てママを応援する「MAMAPA」開催

このイベントは、子育て中のママたちがリフレッシュし、子どもたちがパパや祖父母と交流できる場を提供しようと、地域のママたちで組織される「MAMAPA実行委員会(代表 片山恵世さん)」が企画。

今回も約40店舗が道内各地から集まり、屋外ではキッチンカーも出店しました。また、雑貨づくり体験やキッズネイルといった子ども向けのワークショップも数多く開催されました。

文化センターTOM



連動企画として、こどもLABO(代表 橋本純子さん)が主催する映画上映会も行われました



上湧別学園



湧別漁業協同組合よりホタテ稚貝を寄贈いただきました

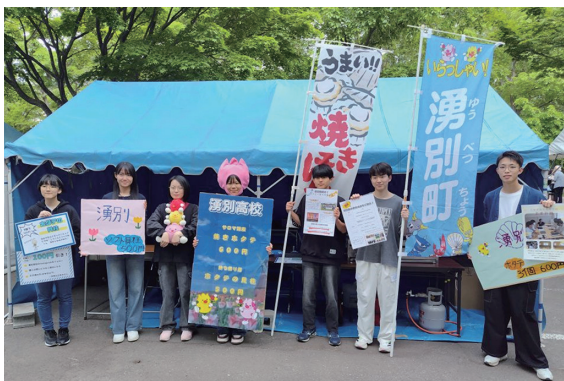
上湧別学園



ゆうべつ学園



北海道大学 札幌キャンパス



道内6町の高校や団体などの参加を得て企画された「まるっと北海道フェスタ」の参加団体として出店しました

6/4

稚貝がいっぱい！

チガイのわかるカレーが給食で提供

町内の認定こども園、保育所、義務教育学校の給食で「チガイのわかるカレー」が提供されました。

チガイのわかるカレーは湧別町商工会女性部が考案したメニューで、湧別産のホタテ稚貝とオホーツク産の玉ねぎを使った期間限定のご当地カレーです。

子どもたちは「いっぱいホタテが入ってた！おかわりする！」と、うれしそうに湧別の味を堪能しました。

6/7

全校生徒で力を合わせて

義務教育学校で運動会

上湧別学園、ゆうべつ学園、芭露学園で運動会が開催され、保護者や地域の方々が応援に駆けつけました。

今年4月に開校した上湧別学園では初めての運動会となり、1～9年生が一丸となって練習の成果を発揮。芭露学園では、保護者と力を合わせて競い合うデカパンリレーで大いに盛り上がりました。また、ゆうべつ学園では、赤組・白組が同点の結果となる珍しい展開に。優勝旗が両チームに交互に渡されると、会場中に笑顔が広がりました。

芭露学園



6/7

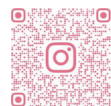
ホタテで町や高校をPR

湧高生が北大祭に出店

湧別高校生徒会が「第67回北大祭」に今年も模擬店を出店し、特産のホタテを使った浜焼きやソフト貝柱を販売しながら町や高校をPRしました。

生徒会長の吉田春菜さんら生徒7人が、鉄板で焼いたホタテにバター醤油を付けたカップ入りの浜焼き約250食を販売。湧別高校SNSのフォロー画面やピラを見せると100円引きになるなどの特典を付け、高校の情報発信にも力を入れました。

湧別高校
インスタグラム



6/
7

会員を全道に拡大

札幌湧別会が総会・懇親会

札幌圏に住む湧別町出身者などをつくる「札幌湧別会」（会員135人）の総会が開かれ、来賓を含む約60人が出席し、会則を改正して札幌市や周辺市町村としてきた会員の居住条件を道内全域に拡大することを決めました。

総会後の懇親会には、刈田町長や村田町議会議員、酒井観光協会長、橋本商工会長をはじめ、後藤義英東京湧別会長らが来賓として出席。刈田町長が町の現況や教育、酪農、水産などに関する地元の取り組みを説明しました。

ホテルポールスター札幌（札幌市）

第9回 札幌湧別会 総会・懇親会



大館一生活会長は「会員を道内全域に広げ、にぎやかな会にしていきたい」とあいさつしました

6/
10

長年にわたる功績を称えて

北村茂さんに町感謝状を贈呈

長年、湧別町の公職としてご尽力いただいた北村茂さんに、刈田町長より感謝状と記念品が贈呈されました。

北村さんは、合併前の平成10年から通算で26年11カ月の間、国民健康保険運営協議会委員として、また、平成26年から10年3カ月の間、保健医療福祉協議会委員として町の発展に寄与されました。

町の国民健康保険事業や社会福祉にご尽力いただき、誠にありがとうございました。



北村 茂さん（上湧別屯田市街地）

6/
11

絵本の世界に引き込まれる

読み聞かせボランティアが始まりました

リーディング倶楽部たんぼぼ（代表 小松初恵さん）による読み聞かせボランティアが今年も始まりました。

初回の読み聞かせは、1・3・5年生を対象に行われ、あっという間に絵本の世界に深く引き込まれていました。1年生のクラスでは、読み聞かせが終わった後も本の周りに集まり、内容を振り返るほどの盛り上がり。

子どもたちに本と触れあう機会を提供してくださり、ありがとうございました。

ゆうべつ学園



今年は1～6年生までを対象に毎週水曜日に行われます

6/
11

将来のための環境づくり

浜のかあさん植樹祭

町内企業や漁組女性部の方々と、新たな苗木を植える植樹作業が実施されました。漁組青年部の方々は以前植樹した苗木周辺の芝刈りを担当し、植えた苗が成長に必要な日光を取り込めるように周囲の環境整備を行いました。

森林環境を整えることで、栄養分を含んだ水が海に流れ込み、海の生き物たちが豊かに育つ環境を作り、森林の働きにより町が推進するゼロカーボン社会の実現にも貢献する取り組みです。

計呂地円山地区



湧別漁業協同組合の関係者や町内の企業などが参加しました



上湧別庁舎応接室



刈田町長と久保田代表が協定書に署名し、地域活性化など共に推進する意思を互いに確認しました

上湧別・中湧別地区の国道沿い



マリーゴールドが道を明るく彩ります

かみゆうべつチューリップ公園駐車場



消防団員82人、消防車両10台が集結しました

芭露保育所



子どもたちも除草を手伝いました

6/7 地域の活性化へ官民連携 (株)OKULABと包括連携協定締結

全国規模でコインランドリーを展開しており、地域に根差した企業活動も行っている(株)OKULAB（オクラボ）と、包括連携協定調印式が行われました。

この協定は、(株)OKULABが持つ知識とノウハウを有効活用し、まちづくりやコインランドリーの整備に向けた検討などの地域の活性化を官民連携により推進することを目的としています。町では、文化センターTOM付近にコインランドリー整備を計画しています。

6/13~15 花いっぱいの国道に 国道花壇にマリーゴールドが植えられました

上湧別・中湧別地区の国道沿いの花壇にマリーゴールドが植えられました。この花壇は、花いっぱいの道実行委員会(毛利強会長)の皆さんが、北海道開発局の「ボランティア・サポート・プログラム」に参加し、1年を通じて管理しているものです。ボランティアの皆さんの手で1本1本丁寧に植えられたマリーゴールドは、秋まで国道沿いを華やかに彩ります。

6/15 技術向上と団結力の強化を 消防団春季消防演習

刈田町長をはじめ多くのご来賓が見守る中、小隊訓練や消防操法訓練を行い、本番さながらの緊張感の中で、日ごろの訓練成果を存分に発揮しました。

【消防団に入団希望の方はお問い合わせください】

遠軽地区広域組合消防署

上湧別出張所 消防団係 Tel.2-4111



遠軽地区広域組合
消防本部公式SNS

6/16 芭露保育所グラウンドを整備 (株)中川組が地域貢献活動

運動会を前に、(株)中川組(森光弘社長)による地域貢献活動の一環として、保育所グラウンドの除草と整備が行われました。

今回整備いただいたのは芭露保育所で、施設の適正な維持管理および安全確保に寄与されました。

整備後の6月21日(土)には芭露保育所の運動会も行われ、きれいで安全なグラウンドに子どもたちも大喜びでした。誠にありがとうございました。

6/20

万が一の海難事故に備える 湧別救難所総合訓練

日本水難救済会湧別救難所による、万が一の海難救助に備えた総合訓練が、湧別漁港で行われました。
会場では訓練に先立ち、来賓や関係者が見守るなか、退任所員の表彰と新所員への委嘱状伝達式が行われました。
引き続き行われた救助訓練では、来賓として出席した紋別海上保安部の三宅業務管理官より講評が行われ、所員一同海難救助への意識が高まった様子でした。
今後も、海難事故のないよう注意しましょう。

湧別漁港



救命索発射、心肺蘇生が実施されました

6/23

湧別の名を冠した護衛艦 2代目「護衛艦ゆうべつ」が大湊に配備

湧別の名を冠した2代目となる「護衛艦ゆうべつ」が青森県むつ市の海上自衛隊大湊基地に配属されたことにもない入港行事が行われ、刈田湧別町長、山本むつ市長のほか、隊員の家族ら合わせて約170人が出席しました。
全長133m、全幅16.3m、最大速力約30ノット（時速約56km）で、武器運用や操船など複数のシステム機能を統合することで省人化と小型化を図り、従来の護衛艦と比較して約半数の90人での運用が可能となりました。



外部の各種装備品を内装することでスマートな外観となったほか、ステルス機能を強化した最新鋭の護衛艦です

各種大会で活躍

◆令和7年度第79回国民スポーツ大会北海道予選会(少年男子の部) ラグビーフットボール競技兼北海道体育大会(6/13~14:帯広市)



U17オホーツク選抜チームの一員として
2位リーグ優勝

- 写真左から 澤口 星斗さん(湧別高2年)
 峯田 永遠さん(湧別高2年)
 藤井 涼さん(湧別高2年)
 三浦 拓馬さん(湧別高2年)



U18オホーツク選抜チームの一員として
1位リーグ優勝

- 写真前列左から 栗田 悠さん(湧別高3年)
 柿崎 彩人さん(湧別高3年)
 草野 一哉さん(湧別高3年)
 後列左から 井向 陽都さん(湧別高3年)
 栗山 優海さん(湧別高3年)

◆高松宮賜杯第69回全日本軟式野球大会(1部)北・北海道大会(6/21~23:士別市)

社会人野球チーム「湧別クラブ」 出場

※町内在住で、全道規模の大会などに出場した方・団体を掲載しています。(敬称略)